

# 令和8年度 習志野市立第一中学校 学校経営方針

## 学校教育目標

「知徳体のバランスのとれた未来を拓く生徒の育成」

## 学校の特色・実態

79年の歴史を持つ本校では、急速な地域の区画整理により、環境が大きく変わり、畑が住宅地へと変貌してきました。その際、学校環境や地域の環境も大きく変わり、グラウンドの新設や、道路整備、新興住宅地の開発などから新たな住民の数が増えています。そのために今後3年後には生徒数が千人以上になると予想されています。

生徒は大変まじめに勉強や部活動に励んでおり、全国学力調査や実力テストでは、大変良い成績を収めています。家庭での教育に関する関心は高いものがあります。進学先も進学校が多く、交通の便などから都内の私立高校を受験する生徒も数多く見受けられます。部活動も盛んで伝統的に管弦楽部の活躍は全国トップレベルでよい結果をもたらしています。過去には、男子バスケットボール部の全国優勝やサッカー一部・野球部の全国大会出場など輝かしい歴史があります。

学校教育の使命は、子供たちに夢や希望を持たせ、実現させるために必要な知・徳・体にわたる確固たる「生きる力」を身につけさせることです。また、個別化や個性重視の風潮の中、集団での取り組みや他人と関わる場が減少し、大人も子どもも人間関係は希薄になっており、不登校生徒の増加やいじめの問題が大きな教育課題となっています。よって自学・進取の精神や、心身ともに健康で人を思いやる豊かな心を持ち、次世代を切り拓き生き抜く力を有する生徒を育てることが求められます。そんな中、命を大切にし、生きる力を育む教育を徹底し、「知・徳・体」のバランスのとれた生徒の育成を目指しています。

また、地域に根ざした教育活動を展開し、学校に愛着を持ち、地域全体の活性化につながるこれがこれからの学校の大きな役割であり、生徒の成長は地域と共にあること、学校が地域の核となって活動していくことを目指しています。

## 目指すべき姿

### 【目指す学校像】

- (1) 活力ある一中
- (2) きれいな一中
- (3) 挨拶がとびかう一中

### 【目指す生徒像】

- (1) 心身ともにたくましい生徒
- (2) 知性・知力の優れた生徒
- (3) 情操・表現力の豊かな生徒

### 【目指す教師像】

- (1) 教育への情熱が人一倍熱い教師
- (2) 研鑽に励む教師
- (3) 生徒とともに汗を流す教師

## 学校経営の重点目標

- (1) 学力の向上を図る。
- (2) 不登校生徒をなくすように努める。
- (3) 規範意識を持たせ、思いやりの心、豊かな心を育成し、道徳的実践力を高め、いじめゼロを目指す。
- (4) 生徒の健康増進、安全確保に努める。  
食育に努め、給食指導を充実させる。
- (5) 特別支援教育の充実を図る。
- (6) 教職員の研究・研修を充実させ、教職員の資質向上を図る。
- (7) 生徒や保護者、地域の人たちとの信頼関係を深める。

## 重点目標を達成するための具体的方策

- (1) 教育目標具現化のため、全教職員がそれぞれの立場で経営に参加していることを自覚し、英知と創意を結集して、本校教育の充実発展を図る。
- (2) 常に校務分掌上の責任を全うするとともに、組織活動の活性化を図り、「報告」、「連絡」、「相談」、「確認」を徹底する。
- (3) 生徒の指導にあたっては、生命尊重の精神を基本として、生徒指導の機能を生かして一人一人の生徒を具体的に理解することに努め、学校人権教育を推進し、知・徳・体の調和的発達を図る。
- (4) 学校生活のあらゆる場面で、生徒を中心に据え、明るく活気に満ちた学校経営を行い、生徒の安全を図るとともに、安全・防災教育、安全管理の徹底を図る。
- (5) 環境が人をつくる。最大の環境は人であることを意識し、教育実践の中核となる学年・学級を基盤として、生徒と教師、生徒相互の触れあいを深め、喜びと充実感のある学校生活の創造をめざす。
- (6) 教育活動全体を通し、生徒の自主的・自律的な態度と自治的能力の育成を図る。
- (7) 音楽教育や体験学習を充実させ、生徒の情操や豊かな表現力の育成を図る。
- (8) 環境教育、国際理解教育の推進を図り、自ら環境問題を解決する能力や国際社会に生きる日本人としての能力の育成を図る。
- (9) 福祉教育の充実を図り、心豊かで、進んで奉仕できる生徒を育成する。
- (10) 教師は専門職として、研究と修養に努めるとともに、組織的な校内研修を充実させ、その力量を高める。
- (11) 家庭・地域・PTA・学校評議員との連携を深め、地域社会に開かれた学校づくりを推進する。

## 本年度の具体的方策

### (1) 学校経営の充実

- ① 教頭、主任等のリーダーシップの発揮と教職員相互の協力体制の確立を図る。
- ② 生徒指導部会や教育相談部会を充実させ、教職員相互の報告、連絡、相談、確認に努め、学校組織の活性化を図る。
- ③ 地域や生徒の特性を生かした教育課程を編成し、計画・実践・評価の充実を図る。
- ④ 生徒会活動を充実させ、社会の中で評価される生徒の育成に努める。
- ⑤ 学校、家庭、地域が相互に理解し合い、協力する体制をさらに進める。

### (2) 生徒指導の充実

- ① 全教職員共通のもとに、一致協力体制で指導にあたる。
- ② 基本的な生活習慣の指導の徹底を図り、集団の中での個の在り方の自覚を深める。
- ③ 一人ひとりの生徒理解を深め、随時の教育相談と定期教育相談を実施して、問題解決を図る。
- ④ 長欠対策を重視し、校内教育支援センターを充実させ、不登校生徒の解消に努める。
- ⑤ あらゆる人権問題を自らの問題として自覚し、いじめや差別のない思いやりの心を育成し、正義感をいきわたらせる。

### (3) 学習指導の充実

- ① 基本的な学習習慣を明確にして、共通指導を心掛ける。
- ② 主体的学習態度の育成を目指し、生徒指導の機能を生かした指導法の改善を図る。
- ③ 学習課題を明確にして、指導と評価の一体化を図る。
- ④ 基礎学力を確実に身につけさせるために、指導内容の工夫・改善に努める。

### (4) 学年・学級経営の充実

- ① 学年経営を計画的に推進し、教育目標具現化を図る。
- ② 学年主任同士の連絡・連携を密にし、学年相互の協力体制を強化する。
- ③ 教師と生徒、生徒相互の人間関係を深める学級経営を推進する。
- ④ 生徒の心を育てるにふさわしい言語環境と、教室環境の整備に努める。

### (5) 学校人権教育の推進

- ① 人間関係(いじめ、差別)、言葉遣い(相手を傷つけない)等、言語環境指導の徹底を図る。
- ② 様々な人権問題を意識させ、人間尊重の精神を基盤に差別を見抜き、「しない、させない、見のがさない」指導の工夫をする。

### (6) 道徳教育と特別活動の充実

- ① 自己決定能力や生き方に関わる指導の充実を図る。
- ② 道徳の時間を確保し、指導の充実を図る。
- ③ キャリア教育を計画的に推進する。
- ④ 生徒会活動の自主的運営を助長し、その指導に努める。
- ⑤ 勤労生産体験、奉仕体験、自然体験等の活動を推進する。

### **(7) 特別支援教育の充実**

- ① 特別支援教育の実践研修を推進し、全校の支援体制を確立する。
- ② 交流教育を積極的に行い、担任同士の連携を強化する。
- ③ 個別の指導計画を整備し、活用を図る
- ④ 発達障害に関する理解を深める。

### **(8) 健康・体力の向上と安全管理・指導の徹底**

- ① 事故を未然に防ぎ、突然の災害時にも安全に行動できる態度と能力を身につけさせる。
- ② 健康観察、安全点検を確実にを行い、安全保持の態度や習慣を養う。
- ③ 給食指導を徹底し、適切な栄養を摂取し、健康の保持増進を図る。
- ④ 全学校教育活動を通して、体力の向上に努める。
- ⑤ 健康教育や性教育を計画的に推進する。

### **(9) 豊かな環境づくり**

- ① 教師と生徒が協力して整備し、緑豊かな潤いのある教育環境づくりに努める。
- ② 清掃活動にきちんと取り組み、日々清潔で快適な学習環境づくりに努める。
- ③ 教室内外の掲示を充実させ、落ち着きと潤いのある学習環境づくりに努める。

### **(10) 研究・研修の充実**

- ① 研究(研修)主題にそって、全教職員で計画的に取り組む。
- ② 授業研究は、各教科・領域部会を中心に積極的に推進する。
- ③ 研究(研修)の内容を評価し、その効果を活用する。
- ④ 必要に応じ生徒理解のための研修を行う。

### **(11) 国際理解教育の推進**

国際社会を生きる力として、社会科や、外国語、「総合的な学習の時間」を中心に基礎的・基本的なコミュニケーション能力の育成を図る。

### **(12) 福祉教育の推進**

- ① 福祉教育の充実を図り、自分を大切にする態度や思いやりの心を育成する。
- ② ボランティア活動を重視し、地域の活動に積極的に参加できる心を育てる。

### **(13) 保護者・地域との連携**

- ① 計画的に学校評議員による協議会を開催し、保護者や地域住民等の学校に対する理解と信頼を深める。
- ② 「学校だより」等を定期的に発行し、保護者や地域に配布し、ホームページを充実させることで、学校教育に関する理解や啓発に努める。
- ③ 学年保護者会、学級保護者会の充実を図り、教師と保護者相互の連携を深める。
- ④ 地域の教育力の活用に努める。